

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		スポーツ活動支援事業						予算事業名		スポーツ活動支援事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	スポーツ基本法					
				10	06	01	04	経常経費							
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業					
		誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進													
		スポーツ活動を推進する人材の育成・支援						担当課係等		スポーツ振興課 スポーツ振興係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
スポーツ団体や指導者の育成を図ることで継続的かつ充実したスポーツ活動を推進する。								各市町村で、スポーツ協会やスポーツ少年団をはじめとしたスポーツ活動を補助金を通して支援している。また、スポーツ基本法などに基づき、推進委員の委嘱を行っている。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
・スポーツ振興のための各種補助金の交付 ・スポーツ推進委員の委嘱（2年に1回）、連絡協議会の設置及び運営支援 ・スポーツ推進委員の各種研修会等への参加促進								・市内の小中学生、市民全般 ・スポーツ団体所属者等 ・結城市スポーツ協会 ・結城市スポーツ少年団							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								・市民のニーズが多様化しているため、様々なスポーツを紹介できる機会の充実とそれを支える、スポーツ推進委員の質の向上と知名度アップを図らなければならない。 ・スポーツ協会やスポーツ少年団等の各団体は、独自で大会やイベントを開催するなど積極的に活動しているため、効果的に支援しなければならない。							
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】							
スポーツ振興のための補助金の交付 スポーツ推進委員の委嘱・活動促進				スポーツ振興のための補助金の交付 スポーツ推進委員の活動促進				スポーツ振興のための補助金の交付 スポーツ推進委員の委嘱・活動促進							
■事業費															
				R02年度		R03年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	589	3,517								
歳 入 計 (千 円)				589		3,517									
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)									
	01	報酬		540		540									
	08	旅費		0		293									
	10	需用費		0		10									
	13	使用料及び賃借料		0		44									
	18	負担金補助及び交付金		49		2,630									
歳 出 計 (千 円) (A)				589		3,517									
伸 び 率 (%)						497.11									
備 考	総合計画 104 ページ 予算書 186 ページ														

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	広報活動	回	目標	10.00	30.00	40.00
	市HPの関連ページ数・広報誌掲載回数		実績	13.00	0.00	0.00
	スポーツ推進委員事業実施数	回	目標	10.00	10.00	10.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	スポーツ団体登録数	団体	目標	47.00	45.00	45.00
	スポーツ協会及びスポーツ少年団の加盟・登録団体数		実績	42.00	0.00	0.00
	スポーツ推進委員事業参加者数	人	目標	200.00	200.00	200.00
			実績	170.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	「市民一人1スポーツ」を目標として、幅広い世代にスポーツに親しむ機会を提供することは必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市は地域の特性に応じた施策を策定し、実施する義務がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	団体や個人に補助金を交付することで、積極的に活動できるようサポートし、スポーツの振興に役立っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	各種補助金の交付も含め、大会運営補助での自己努力と自主運営を促す。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	対外試合参加補助金制度の周知が徹底されていない。また、スポーツ大会補助金は、交付に偏りが見られる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	幅広い年代のスポーツに効果がある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	市民のスポーツに対する幅広いニーズに応えられている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市のスポーツ振興は図られており、今後も団体・指導者の育成を実施する。 各種補助金についても周知を徹底することにより、公平性が保たれスポーツ振興に寄与される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
団体への補助金は、いずれ補助金がなくても大会を運営できるように自立を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 スポーツを支えるスポーツ指導者の役割が重要になってきているため、各競技団体の指導者の育成と体制づくりを進める必要がある。 また、生涯スポーツの推進については、豊富な経験と知識を有するスポーツ推進委員に加え、若いスポーツ推進委員の発掘と育成を行い、市民のニーズに合ったスポーツの推進に努める。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	